

短期大学生，専門学校生の自己の健康への認識と 医各科に対するイメージについての一考察

大西真由実・小林 壽子・渡邊 貢次*¹・鈴木 千春*¹

A Study on Recognition and Understandings of their Health and their Impressions of the Medical Departments among the Students in Junior Colleges and Professional Schools

Mayumi ONISHI, Hisako KOBAYASHI,
Koji WATANABE*¹, Chiharu SUZUKI*¹

To develop better understanding for health among people is the most important problem in the aging society, as well as all generations seeking for the “Quality of Life” (QOL). Thus, we examined the recognition and the understandings of their health conditions, daily dentistry health practices and their impressions of medical departments by showing questionnaires to 225 students in the junior colleges and the professional schools.

The findings were follows;

- 1) About 80% of students replied “good” in their health conditions and there had been no significant differences between the male and the female. However, the female students recognized and understood much more clearly their health conditions than the male students.
- 2) About 90% of both male and female students had no physical difficulties in their daily activities but some of the male complained due to the troubles in the jobs and daily activities.
- 3) About 25~35% of the male and about 20~24% of the female students were suffered from their mentally unstable conditions but there had been no significant differences between both of them. However, in the response on the questionnaire asking them “being happy or not”, the numbers of the female feeling “happy” were much higher than the male students.
- 4) About 27% of male and female students replied that they had always taken care of

*¹愛知教育大学教育学部

their dental health.

5) In the questionnaires for asking the students whether they were familiar, or concerned with nine medical departments such as internal medicine, surgery, ophthalmology, dentistry, etc., the male students were familiar, or concerned with the plastic surgery and the female were familiar, or concerned with the dermatology.

I. はじめに

日本人の平均寿命は急速に男女とも伸び、今や世界一の長寿国とされている。高齢化社会の到来が述べられて既に久しい。社会における高齢者の比重が増すにつれ、高齢者のQuality of life (QOL:生活の質)は高齢社会の大きな課題とされているが、このことは私達の現在そして将来の健康や福祉のあり方を決定していく大きな要因となるといわれている。それに伴って若年層から高齢者に至るまで各世代の日常生活の中でQOLの確立が大きな課題として問われることになる。QOLの確立にあたっては社会的・経済的といった外的状況もちろんであるが、各個人の健康観(意識・行動を含む)が大きな要素となる。

渡邊ら^{1) 2)}はこれまでも男女大学生の健康意識・行動に関する調査を行った結果から、低年齢時には適切な生活習慣確立のための知識や技術の理解と実践を目指すこと、そして青年期の健康再教育の必要性について報告している。これらの実現が成人・高齢化にむかっのQOLの充実に結びついていくと考えられる。

そこで今回、男女短期大学生、専門学校生を対象に最近の身体状況・心の状態などから健康状態を確認し、健康意識の実践として歯科保健行動、健康観を育てたり実践を継続していくにあたって大きな要素となる医各科のイメージ(印象)についてアンケートによる調査を行い、男女間の差や特性等について比較検討した。

II. 研究方法

II・1. 調査対象及び調査時期

短期大学生 162名、専門学校生63名、合計 225名(男性41名、女性 184名)を対象とし、1999年10月に授業時などに記入してもらい、その場で回収した。

II・2. 調査内容

調査内容はMeasuring Health (Ian McDowell, 1996)³⁾をもとに、健康意識、生活習慣、身体状況、歯磨き習慣、内科・外科他9科に対する痛み・身近さ・大切さのイメージなど25項目について尋ねた(資料1)。

健康調査は広く社会人に活用されているシートであり、身体的、社会的あるいは精神的な問

題について尋ねることができるようになってきている³⁾。歯科保健活動及び医各科へのイメージ調査は、愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座（主任 中垣晴男教授）が地域歯科保健活動の一環として作成し市町村の検診時などで活用しているものである。中垣らはこれらを合わせた健康調査シートを作成し、社会人を対象に活用している。今回の対象者にもこれを適用した。

II・3. 処理及び分析方法

データの集計及び分析にはSPSS及びExcelを使用した。また、有意差の判定には χ^2 検定又はt検定により、5%および1%水準で行った。

III. 結果および考察

学校・専攻別にクロス集計を行ったが、学校間にあまり差はみられなかったため、男女間のみで比較を行った。

III・1. 対象者の平均年齢

平均年齢は男性 19.61 ± 1.34 歳，女性 19.24 ± 1.78 歳であり，差はみられなかった。

III・2. 健康への認識

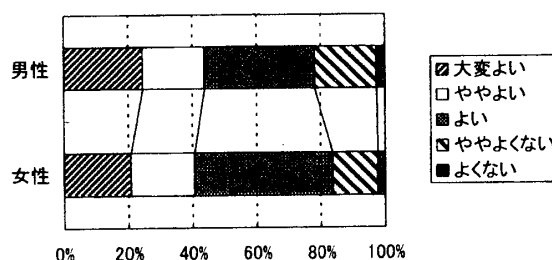
「あなたの健康は」に対し，男女とも「よい」が最も多く男性34.1%，女性42.9%であった。次いで「大変よい・ややよい」が多く，男女間に差はみられなかった。（表1，図1）

表1 あなたの健康は

選択肢	男性 n = 41	女性 n = 184	χ^2 検定
大変よい	10 (24.4%)	38 (20.7%)	N S
ややよい	8 (19.5%)	37 (20.1%)	
よい	14 (34.1%)	79 (42.9%)	
ややよくない	8 (19.5%)	26 (14.1%)	
よくない	1 (2.4%)	4 (2.2%)	

N S：有意差なし； $p \geq 0.05$

図1 あなたの健康は



川崎⁴⁾は主観的な健康状態についての質問では約8割の学生が「よい」または「比較的よい」と答え男女間に差はなかったと報告している。今回の調査でも「大変よい～よい」を合わせると男性78.1%，女性83.7%と同様の傾向があった。西田ら⁵⁾の20歳代後半から40歳代後半の働き盛りの大学卒業生の調査では「健康」と考えている者は男女とも全体の約2/3であり，「不健康」または「あまり健康ではない」とする者は，11～12%存在したと報告している。今回の「ややよくない+よくない」を含めた割合は男性21.9%，女性16.3%で20～40歳代の調査よ

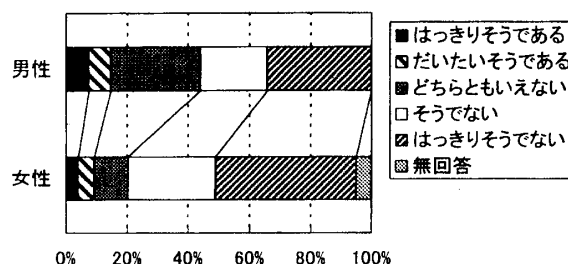
り高い割合となった。この割合の大学生が「自分の健康はよくない」と感じていることは疾病罹患率の少ない年代であることから考えると、学生の健康管理上問題である。

「あなたの健康状態は病気である」に「どちらともいえない」が男性29.3%，女性10.9%と男性に多く、「はっきりそうでない」が男性34.1%，女性46.2%と女性に多くみられた ($p < 0.05$) (表2，図2)。

表2 あなたの健康状態は病気である

選択肢	男性 n = 41	女性 n = 184	χ^2 検定
はっきりそうである	3 (7.3%)	7 (3.8%)	$p < 0.05$
だいたいそうである	3 (7.3%)	10 (5.4%)	
どちらともいえない	12 (29.3%)	20 (10.9%)	
そうでない	9 (22.0%)	53 (28.8%)	
はっきりそうでない	14 (34.1%)	85 (46.2%)	
無回答	0 (0.0%)	9 (4.9%)	

図2 あなたの健康状態は病気である

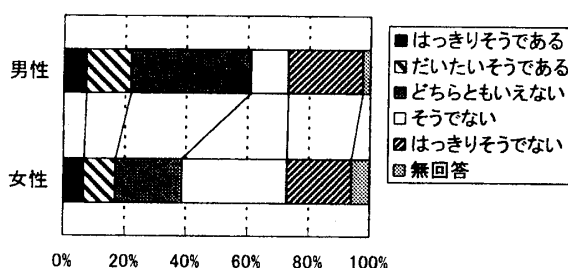


「あなたの健康状態は最近よくない」では「どちらともいえない」が男性39.0%，女性21.7%と男性に多く、「そうでない」が男性12.2%，女性34.2%と女性に多くみられた ($p < 0.05$) (表3，図3)。

表3 あなたの健康状態は最近よくない

選択肢	男性 n = 41	女性 n = 184	χ^2 検定
はっきりそうである	3 (7.3%)	12 (6.5%)	$p < 0.05$
だいたいそうである	6 (14.6%)	19 (10.3%)	
どちらともいえない	16 (39.0%)	40 (21.7%)	
そうでない	5 (12.2%)	63 (34.2%)	
はっきりそうでない	10 (24.4%)	39 (21.2%)	
無回答	1 (2.4%)	11 (6.0%)	

図3 あなたの健康状態は最近よくない

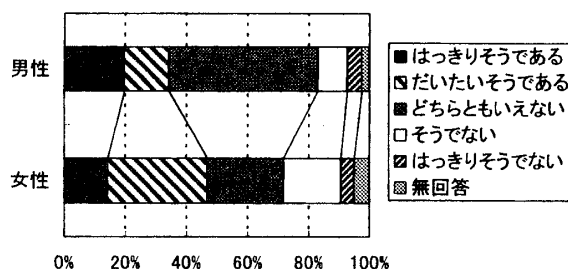


「あなたの健康状態は大変よい」では「どちらともいえない」が男性48.8%，女性25.0%と男性に多く、「だいたいそうである」が男性14.6%，女性32.6%と女性に多くみられた ($p < 0.05$) (表4，図4)。

表4 あなたの健康状態は大変よい

選択肢	男性 n = 41	女性 n = 184	χ^2 検定
はっきりそうである	8 (19.5%)	26 (14.1%)	p<0.05
だいたいそうである	6 (14.6%)	60 (32.6%)	
どちらともいえない	20 (48.8%)	46 (25.0%)	
そうでない	4 (9.8%)	35 (19.0%)	
はっきりそうでない	2 (4.9%)	8 (4.3%)	
無回答	1 (2.4%)	9 (4.9%)	

図4 あなたの健康状態は大変よい



男性に「どちらともいえない」という曖昧な答えが多く、女性に「はっきりそうでない・そうでない・だいたいそうである」という答えが多いことから女性の方が自分の健康への認識が高いことが推測できる。

III・3. 身体的健康状態

「健康が理由で次の行動について支障（不自由）がありましたか」に対しては「重い物を持ち上げるような運動」「テーブルの移動などの中程度の運動」「上り坂の歩行」「背中を曲げたり、身をかがめること」「町の歩行」「食事トイレの使用」のいずれの項目にも男女間に差はみられなかった（表5）。

表5 運動などの支障「健康が理由で次の行動に支障（不自由）がありましたか。」

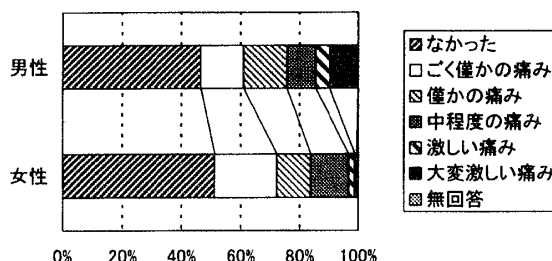
質 問	性別	あった		なかった	χ^2 検定
		3か月より長く	3か月以下		
重い物を持ち上げるような運動	男性	1 (2.4%)	0 (0.0%)	40 (97.6%)	N S
	女性	5 (2.7%)	14 (7.6%)	162 (88.0%)	
テーブルの移動などの中程度の運動	男性	0 (0.0%)	4 (9.8%)	37 (90.2%)	N S
	女性	5 (2.7%)	16 (8.7%)	161 (87.5%)	
上り坂の歩行など	男性	2 (4.9%)	3 (7.3%)	36 (87.8%)	N S
	女性	14 (7.6%)	13 (7.1%)	156 (84.8%)	
背中を曲げたり、身をかがめること	男性	2 (4.9%)	4 (9.8%)	35 (85.4%)	N S
	女性	9 (4.9%)	17 (9.2%)	157 (85.3%)	
町の一区画の歩行など	男性	0 (0.0%)	4 (9.8%)	37 (90.2%)	N S
	女性	6 (3.3%)	12 (6.5%)	165 (89.7%)	
食事・入浴・トイレなど	男性	2 (4.9%)	1 (2.4%)	38 (92.7%)	N S
	女性	8 (4.3%)	5 (2.7%)	170 (92.4%)	

「この1か月で、身体に痛みはありましたか」では「大変激しい痛みがあった」が男性9.8%、女性0.5%であり、男性に有意に多くみられた ($p < 0.01$) (表6, 図5)。

表6 この1か月の身体の痛み

選択肢	男性 n = 41	女性 n = 184	χ^2 検定
なかった	19 (46.3%)	94 (51.1%)	$p < 0.01$
ごく僅かの痛み	6 (14.6%)	39 (21.2%)	
僅かの痛み	6 (14.6%)	21 (11.4%)	
中程度の痛み	4 (9.8%)	24 (13.0%)	
激しい痛み	2 (4.9%)	4 (2.2%)	
大変激しい痛み	4 (9.8%)	1 (0.5%)	
無回答	0 (0.0%)	1 (0.5%)	

図5 この1か月で身体に痛みがありましたか

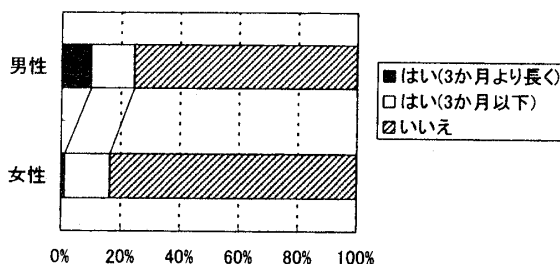


「健康が理由で仕事, 家事, 学校に行くことに支障がありましたか」では, 「いいえ」が男性75.6%, 女性83.7%で女性に有意に多くみられた ($p < 0.01$) (表7, 図6)。

表7 健康が理由での仕事や家事への支障

選択肢	男性 n = 41	女性 n = 184	χ^2 検定
はい (3か月より長く)	4 (9.8%)	2 (1.1%)	$p < 0.01$
はい (3か月以下)	6 (14.6%)	28 (15.2%)	
いいえ	31 (75.6%)	154 (83.7%)	

図6 健康が理由で仕事・家事・学校に支障がありましたか

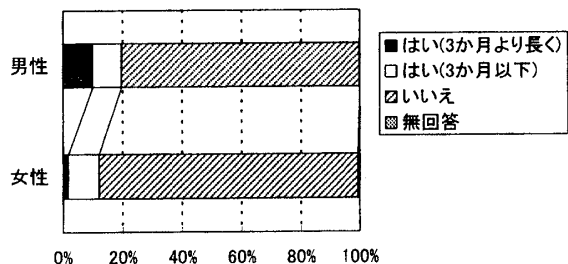


「健康のために仕事, 家事, 学校での勉強ができないことがありましたか」では, 「いいえ」が男性80.5%女性87.5%で女性に有意に多くみられた ($p < 0.05$) (表8, 図7)。

表8 健康のために仕事や家事ができない

選択肢	男性 n = 41	女性 n = 184	χ^2 検定
はい (3か月より長く)	4 (9.8%)	3 (1.6%)	$p < 0.05$
はい (3か月以下)	4 (9.8%)	19 (10.3%)	
いいえ	33 (80.5%)	161 (87.5%)	
無回答	0 (0.0%)	1 (0.5%)	

図7 健康のために仕事・家事・勉強ができないことがありましたか



身体の痛みや仕事や家事に支障があったりできないことがあったというものが男性に多く、男性は身体的に健康でないと自覚している者が目立っている。

Ⅲ・４．精神的健康状態

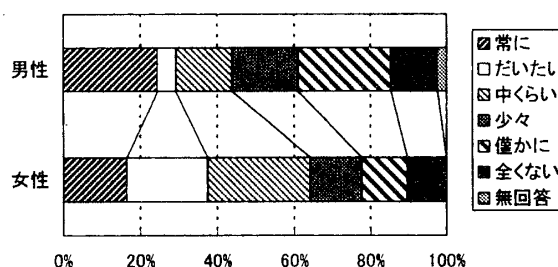
「次のそれぞれの質問についてこの1か月であなたが感じていることに最も近いものはどれですか」の質問に対し「常にあった～全くなかった」の6段階評価で尋ねたところ、有意差がみられたのは「幸せ」の1項目のみだった。

「この1か月は幸せでしたか」では「だいたい・中くらい」が女性に多く、「僅かに」が男性に多くみられた ($p < 0.05$) (表9, 図8)。

表9 この1か月は幸せでしたか

選択肢	男性 n = 41	女性 n = 184	χ^2 検定
常に	10 (24.4%)	30 (16.3%)	$p < 0.05$
だいたい	2 (4.9%)	39 (21.2%)	
中くらい	6 (14.6%)	49 (26.6%)	
少々	7 (17.1%)	25 (13.6%)	
僅かに	10 (24.4%)	22 (12.0%)	
全くない	5 (12.2%)	19 (10.3%)	
無回答	1 (2.4%)	0 (0.0%)	

図8 この1か月は幸せでしたか



「常に+だいたい」と答えたのは「神経質になっていましたか」では男女とも10%前後、「憂鬱でしたか」では男性19.5%、女性12.0%、「元気がなかったですか」では男性24.4%、女性8.6%であり、更に「中くらい」を含めると、男性25~35%、女性20~24%であった。「全くなかった」と答えたのは「神経質…」50%弱、「憂鬱…」30%前後、「元気がない…」30%強であった。また、「おだやかで平和でしたか」では「全くなかった」と答えたのは男性24.4%、女性16.3%であった。

上岡ら⁶⁾は男子では全身持久力・規則性のあるライフスタイル・大学生活の充実ぶりが、女子では大学生活そのものの評価が精神的健康状態に大きく関与していた、また、大学生は自由時間が多いとされるに反し、「時間にしばられている」様相を呈するライフスタイルが明らかになったと述べている。高倉ら⁷⁾は生活満足度が高くなると抑うつ度が低くなる傾向があると報告している。以上のことから、人間関係や自由時間に満足を得られない大学生が精神的な不安定を訴えてきているのではないかと考えられる。

Ⅲ・５．歯科保健行動（さわやか得点）

歯科保健行動の質問に対し、はいと答えた人数が男性より女性に多かった項目は、「かかりつけの歯医者さんはいる」男性39.0%、女性59.8% ($p < 0.05$)、「歯磨きを1日2回以上している」男性51.2%、女性72.8% ($p < 0.01$)の2項目だった。はいと答えた人数が女性より男性に多かった項目は、「歯ぐきから血が出ることはある」男性58.5%、女性41.3% ($p < 0.05$)、「たばこを吸う」男性53.7%、女性16.8% ($p < 0.01$)の2項目だった(表10)。渡邊ら²⁾の調査と比較してみると、「かかりつけの歯科医院がある」男子30.9%、女子44.8%、「間食をよくした」男子47.2%、

表10 歯科保健行動(さわやか得点)「現在もしくは最近1か月であてはまるのはどれですか。」

項目	男女間 χ^2 検定	点数化		さわやか得点 平均値±SD
		はい	いいえ	
歯ぐきをはれることがありますか	NS	0点	4点	男性 12.7±3.9点 女性 12.8±3.5点 男女間 t 検定 NS
歯がしみることはありますか	NS	0点	3点	
間食をよくしますか	NS	0点	3点	
趣味はありますか	NS	3点	0点	
かかりつけの歯医者さんはいますか	p<0.05	2点	0点	
歯の治療は早めに受けるようにしていますか	NS	1点	0点	
歯ぐきから血が出ることはありますか	p<0.05	0点	1点	
歯磨きを1日2回以上していますか	p<0.01	1点	0点	
自分の歯ブラシがありますか	NS	1点	0点	
たばこを吸いますか	p<0.01	0点	1点	

※各項目の得点は、点数が高いほど歯に影響していることが明らかにされている。

<さわやか得点>

さわやか得点とは質問に対する答えの点数を○で囲み、○で囲んだ点数を足したものである。

<さわやか得点結果>

10点以下：歯の健康にとって問題がある。

11～15点：歯にとって問題がおきやすくなっている。

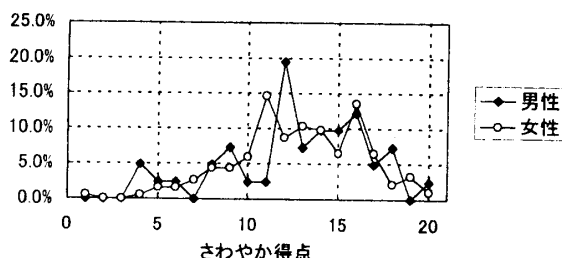
16点以上：歯の健康にとって良い生活をしている。

女子66.3%、「歯ぐきから血がでたことがよくあった・たまにあった」は男子53.2%，女子43.9%とそれぞれが男女間に有意差があり，今回も同様の結果が得られた。「間食」については今回は有意差はみられなかったが男性64.4%，女性74.8%で女性の方が多い傾向だった (p<0.1)。

歯科保健に関わる行動をそれぞれ点数化し，その合計を「さわやか得点」とした (表10)。その結果，男女の平均得点はそれぞれ男性12.7±3.9点，女性12.8±3.5点となり，男女間に差はみられなかった。全体の分布 (図9) においても，顕著な違いはなく，11～12点と16点を頂点とする2つの山型を示した。11～15点の得点群は男性48.8%，女性50.0%と男女とも他の得点群よりも多い割合で，16点以上は男性26.8%，女性26.6%であった。

渡邊ら^{1) 2)}の大学生の歯科保健行動について女性より男性の方が健康(歯)維持のための実践力がやや劣るという報告と，今回の調査でもだいたい一致していたが，その総合評価にあたるさわやか得点においては男女に違いはみられなかった。さわやか得点は，10点以下は「歯の健康にとって問題がある」，11～15点は「歯にとって問題がおきやすくなっている」，16点以上は「歯の健康にとって良い生活をしている」という評価をしている。今回の平均点は男女と

図9 さわやか得点分布



も11～15点の範囲で「歯にとって問題がおきやすくなっている」との評価である。歯の健康は食生活や生活習慣に密接な関連があり、大学生の健康行動は一生涯にわたり続いていくことが予想されるので、QOLの向上につながるとの自覚が必要である。

Ⅲ・6. 医各科に対するイメージ

「次のような各科に対するあなたの印象（イメージ）はどの位ですか」の質問で、内科・外科・整形外科・精神科・産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・歯科の9科それぞれに対するイメージを「痛み」「大切さ」「身近さ」の観点から「非常にそうである～全くそうでない」の5段階で回答を得た。「非常にそうである」を5点、「ややそうである」を4点、「どちらともいえない」を3点、「そうでない」を2点、「全くそうでない」を1点に点数化し、男女別に平均点を算出した。（表11～13、図10～12）。

表11 医各科の痛みに対するイメージ点数

医各科	男性		女性		t検定
	平均	SD	平均	SD	
内科	2.56	1.29	2.64	1.12	N S
外科	3.51	1.21	3.86	1.13	p<0.1
整形外科	3.54	1.16	3.85	0.99	N S
精神科	2.49	1.21	2.28	1.11	N S
産婦人科	3.71	1.36	3.98	1.15	N S
耳鼻咽喉科	3.22	0.96	3.34	1.06	N S
眼科	2.80	1.03	2.47	1.07	p<0.1
皮膚科	3.10	1.02	2.81	1.17	N S
歯科	4.02	1.23	4.19	1.00	N S

図10 痛みに対するイメージ

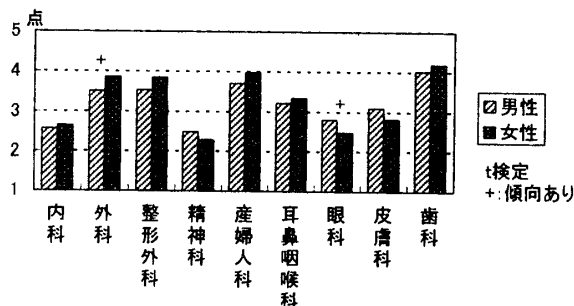


表12 医各科の大切さに対するイメージ点数

医各科	男性		女性		t検定
	平均	SD	平均	SD	
内科	4.00	1.05	4.21	0.91	N S
外科	3.78	1.13	3.95	0.98	N S
整形外科	3.61	1.16	3.60	1.07	N S
精神科	3.71	1.19	3.65	1.20	N S
産婦人科	3.59	1.55	4.01	1.21	N S
耳鼻咽喉科	3.83	1.05	3.70	1.07	N S
眼科	3.88	1.10	4.00	1.01	N S
皮膚科	3.54	1.05	3.75	1.10	N S
歯科	3.93	1.19	4.28	0.89	p<0.1

図11 大切さに対するイメージ

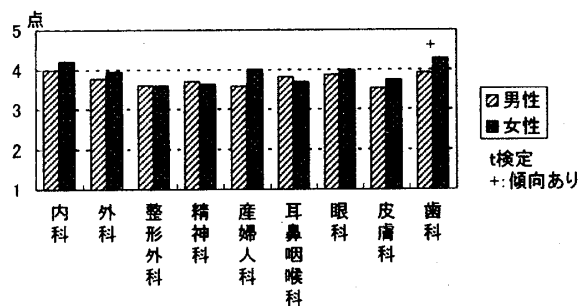
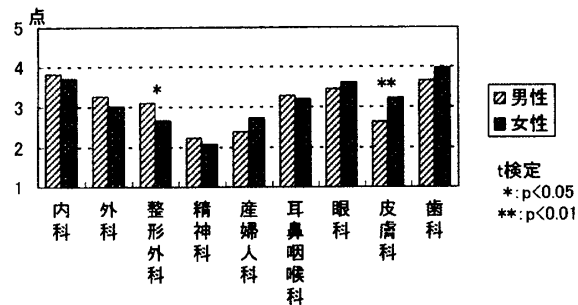


表13 医各科の身近さに対するイメージ点数

医各科	男性		女性		t検定
	平均	SD	平均	SD	
内科	3.83	1.14	3.72	1.09	N S
外科	3.27	1.14	3.02	1.11	N S
整形外科	3.10	1.26	2.67	1.14	p<0.05
精神科	2.24	1.11	2.08	1.12	N S
産婦人科	2.39	1.28	2.73	1.22	N S
耳鼻咽喉科	3.29	1.21	3.21	1.16	N S
眼科	3.46	1.23	3.62	1.17	N S
皮膚科	2.63	1.04	3.23	1.23	p<0.01
歯科	3.66	1.22	3.98	0.99	N S

図12 身近さに対するイメージ



痛みに対するイメージは各科によってばらついており、最も高い得点を示したのは歯科で男性4.02点、女性4.19点で、次いで産婦人科、整形外科、外科が高得点であった。最も低い得点を示したのは精神科で男性2.49、女性2.28点だった。男女間では有意差はみられなかったが、外科は女性の方が眼科は男性の方が痛いイメージがある傾向があった ($p<0.1$)。

大切さに対するイメージでは各科の平均点は高く、男性は3.54~4.00点、女性は3.60~4.28点の範囲であった。男女間では有意差はみられなかったが、歯科は女性の方が大切なイメージがある傾向があった ($p<0.1$)。

身近さに対するイメージは各科によってばらついており、最も高い得点を示したのは男性は内科3.83点、女性は歯科3.98点、最も低い得点を示したのは精神科で男性2.24、女性2.08点だった。男女間で有意差がみられたのは、整形外科 ($p<0.05$) と皮膚科 ($p<0.01$) であった。整形外科に対しては男性3.10点、女性2.67点で、女性より男性に身近なイメージがあり、皮膚科に対しては男性2.63点、女性3.23点で、男性より女性に身近なイメージがあった。

歯科がいずれも高得点であり、精神科が低得点であったことから、イメージは治療経験や身近に治療経験者がいることなどが大きく影響していると考えられる。

医各科に対するイメージは個人の健康行動への一要因となり、また、個人の身体や健康への関心度を表しているとも推測できるので、健康意識とも関連あるのではないだろうか。

IV. おわりに

今回の結果から、男性より女性の方が身体的にも精神的にも健康であること、健康への認識は男性より女性の方が高く、歯科保健に関する生活習慣、歯磨き習慣、歯周状況も女性の方が望ましい回答が多かった。しかし、精神的健康において不安定を感じている者が男女とも20~30%いることは、現代の人間関係の困難さや時間に追われている現状がうかがえるのではないだろうか。また、歯科保健行動をみると「歯の健康にとって良い生活をしている」学生は男女とも約27%にとどまり、50%は「歯にとって問題がおきやすくなっている」、20~25%は「歯の健康にとって問題がある」状態にあり、健康行動に結びついていない者が多く存在することは無視できない。

高倉ら⁷⁾はQOL測定のために一つの指標を強いて選ぶなら主観的指標の生活満足度があげられると指摘している。そして、生活満足度が高くなると抑うつ度が低くなる即ち、よい精神的健康状態になる。善福ら⁸⁾は日常の生活習慣の良い群では、主観的な、身体的および精神的健康度がさらに高いことが示唆されるとしている。さらに、梅澤らの小学生対象の調査では生活行動では「歯磨き」等、健康診断に直接関連のある行動において、また健康に対する認識では、健康の自己評価について、好ましい変化が認められた⁹⁾。健康診断に積極的に取り組んでいる学校の児童に生活行動及び健康認識の変化が顕著に現れた¹⁰⁾ という調査もある。したがって、よい生活習慣の確立や健康への認識を高めるためには、積極的な健康診断への取り組みも大学生の健康教育の機会の一つとして考えていくべきではないだろうか。

最初に述べたように、QOLを向上させることは高齢社会を迎えての大きな課題であり、そのためには個人の健康意識を高めることが重要である。良好な生活習慣の実践は本人の健康意識、健康行動を反映している。とりわけ幼児期からの家庭の躰あるいは両親の行動による影響が大きい。更に成長を伴った教育を含めた情報による知識の発達による影響が大きくなる。その上、医療健康の領域を専門的に学習することによって新たな健康観が育ってくることも考えられる。今回はそれらを専門としていない男女短期大学生と専門学校生を対象に調査したが、現在、対象者をさらに増やし、特に医療や健康を専攻している学生への調査も行い検討中である¹¹⁾¹²⁾。さらに各項目毎の相関関係、これまでの調査結果等と比較検討し、分析を深めたいと考えている。

謝 辞

本研究の遂行にあたって愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座中垣教授から親切なるご教示をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。また、調査にあたってご協力いただきました学生の皆さんに感謝申し上げます。

研究の一部は平成11、12年度文部省科研費補助金（基盤研究C 11672042、代表 渡邊貢次）による。また、内容の一部は第43回東海学校保健学会（2000.9.名古屋市）、第47回日本学校保健学会（2000.11.福岡市）で発表した。

参考文献

- 1) 渡邊貢次・鈴木千春・鈴木一吉, (1999): 女子大学生の歯科保健行動についての意識調査 - 小学生低年齢時～大学生時 (現在) の比較 -, 日本教育保健研究会年報, 6, p.29～36
- 2) 渡邊貢次・鈴木千春・渡邊真弓他, (2000): 男女大学生の小学生時から大学生時 (現在時) の生活習慣, 栄養摂取および歯科保健行動に関する調査研究, 愛知教育大学研究報告, 49, p.79～86
- 3) Ian McDowell, Claire Newell, (1996): MEASURING HEALTH - A Guide To Rating Scales and Questionnaires SECOND EDITION -, OXFORD UNIVERSITY PRESS, p.456～460
- 4) 川崎晃一, (1996): 身体面を中心とした大学生の健康状況, 学校保健研究, 38(2), p.114～120
- 5) 西田弘之・米田勝朗・竹本康史他, (1996): 大学卒業生の健康・体力・ライフスタイルと大学体育教育の基礎的検討 - 公立単科大学卒業生を対象として -, 学校保健研究, 38(1), p.34～47
- 6) 上岡洋晴・佐藤陽治・斎藤滋雄・武藤芳照, (1998): 大学生の精神的健康度とライフスタイルとの関連, 学校保健研究, 40(5), p.425～438
- 7) 高倉実・新屋信雄・平良一彦, (1995): 大学生のQuality of life と精神的健康について - 生活満足度尺度の試作 -, 学校保健研究, 37(5), p.414～422
- 8) 善福正夫・川田智恵子, (1997): 学生における健康習慣と主観的健康状態の関連性に関する研究, 学校保健研究, 39(4), p.325～332

- 9) 梅澤祥子・坂本讓・折笠安秀他, (1998): 健康診断が児童の生活行動と健康認識に与える影響 (I) - 健康診断前後による変化 -, 学校保健研究, 40(2), p.121~132
- 10) 梅澤祥子・坂本讓・折笠安秀他, (1998): 健康診断が児童の生活行動と健康認識に与える影響 (II) - 健康診断への取り組みの相違と児童の生活行動及び健康認識との関連 -, 学校保健研究, 40(2), p.133~139
- 11) 木村操・鈴木千春・渡邊貢次他, (2000): 女子大学生の「健康意識」「医のイメージ」についての研究 - 養護学生, 看護系学生, 他学生へのアンケート調査から -, 第47回日本学校保健学会講演集, p.264~265
- 12) 渡邊貢次・鈴木千春・石田博幸他, (2001): 男女大学生の「健康意識・行動」と「医のイメージ」について - アンケートによる調査から -, 愛知教育大学研究報告, 50, (印刷中)

資料1

整理番号：_____

(秘)

健康調査票

1999.

愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座

TEL (052) 751-2561 (内352)

以下の欄には記入する必要はありません。↓

性別：1 男 ・ 2 女

1

生年月日：19 年 月 日 (満 歳)

2

(明治 年)

(大正 年)

(昭和 年)

[お願い]

この調査は、皆様の保健の状況を知るための大切な調査です。

ご協力をお願いいたします。

お答えになった内容については、統計以外の目的には使用しません。

次のおたずねであてはまる (□) に印 (チェック) (レ) をして下さい。

(記入不要) ↓

1. あなたの健康は

3

- 1 大変よい
- 2 ややよい
- 3 よい
- 4 ややよくない
- 5 よくない

2. 健康が理由で次の行動について支障 (不自由) がありましたか。

あった あった なかった

(3か月より長く) (3か月以下)

- | | | | | |
|----------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------|
| a. 重い物を持ち上げる, スポーツに参加する, 1 | 2 | 3 | 4 | <input type="text"/> |
| ような運動 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| b. テーブルの移動, 食料品の持ち運び, ポー | | | 5 | <input type="text"/> |
| リングなどの中程度の運動 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| c. 上り坂の歩行, もしくは階段を昇ること | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 6 | <input type="text"/> |
| d. 背中を曲げたり, 物を持ち上げたり, 身を | | | 7 | <input type="text"/> |
| かがめること | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| e. 町の一区画 (ブロック・道路から次の道路 | | | 8 | <input type="text"/> |
| まで) の歩行 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| f. 食事, 着替え, 入浴, もしくはトイレの使 | | | 9 | <input type="text"/> |
| 用 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |

3. この1か月 (4週間) で, 身体に痛みがありましたか。

10

- 1 なかった
- 2 ごく僅かの痛みがあった
- 3 僅かの痛みがあった
- 4 中程度の痛みがあった
- 5 激しい痛みがあった
- 6 大変激しい痛みがあった

4. 健康が理由で仕事をする事、家の事をする事、もしくは学校に行くことに支障がありましたか。 (記入不要) ↓ 11

1 はい, (3か月より長く)

2 はい, (3か月以下)

3 いいえ

5. 健康のために仕事、家の事や学校での勉強ができないことがありましたか。 12

1 はい, (3か月より長く)

2 はい, (3か月以下)

3 いいえ

次のそれぞれの質問についてこの1か月であなたが感じていることにもっとも近いものはどれですか。

	つねに あった	だいたい あった	中くらい にあった	少々 あった	僅かに あった	全くそのよ うなことは なかった	
--	------------	-------------	--------------	-----------	------------	------------------------	--

6. この1か月に健康が理由で社会活動に支障がありましたか。 (友や親しい家族を訪問することなど)	1	2	3	4	5	6	13	<input type="text"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

7. この1か月は神経質になっていましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14	<input type="text"/>
------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	----	----------------------

8. この1か月はおだやかで平和でしたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15	<input type="text"/>
-----------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	----	----------------------

9. この1か月間はゆううつ (憂鬱) でしたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16	<input type="text"/>
---------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	----	----------------------

10. この1か月は幸せでしたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17	<input type="text"/>
-------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	----	----------------------

11. この1か月は元気がなかったですか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18	<input type="text"/>
-----------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	----	----------------------

12. あなたの健康状態であてはまるのはどれですか。

(記入不要) ↓

	はっきり そうである	だいたい そうである	どちらとも いえない	そうでない	はっきり そうでない	
	1	2	3	4	5	
a. 病気である。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19 <input type="text"/>
b. 人並みである。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20 <input type="text"/>
c. 大変よい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21 <input type="text"/>
d. 最近よくない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22 <input type="text"/>

あなたの現在もしくは最近1か月についてあてはまる番号に○を付けて下さい。

13. 歯ぐきがはれることがありますか。	1	はい	2	いいえ	23	<input type="text"/>
14. 歯がしみることはありますか。	1	はい	2	いいえ	24	<input type="text"/>
15. 間食をよくしますか。	1	はい	2	いいえ	25	<input type="text"/>
16. 趣味はありますか。	1	はい	2	いいえ	26	<input type="text"/>
17. かかりつけの歯医者さんはいますか。	1	はい	2	いいえ	27	<input type="text"/>
18. 歯の治療は早めに受けるようにしていますか。	1	はい	2	いいえ	28	<input type="text"/>
19. 歯ぐきから血が出ることはありますか。	1	はい	2	いいえ	29	<input type="text"/>
20. 歯磨きを1日2回以上していますか。	1	はい	2	いいえ	30	<input type="text"/>
21. 自分の歯ブラシがありますか。	1	はい	2	いいえ	31	<input type="text"/>
22. たばこを吸いますか。	1	はい	2	いいえ	32	<input type="text"/>

23. 次のような各科に対するあなたの印象（イメージ）はどの位ですか。該当するイメージの数字に○をつけてください。

(1) 痛みに対するイメージについて

	非常に痛い	やや痛い	どちらとも 言えない	痛くない	全く痛 くない	
	1	2	3	4	5	
a. 内科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	33 <input type="text"/>
b. 外科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	34 <input type="text"/>
c. 整形外科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	35 <input type="text"/>
d. 精神科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	36 <input type="text"/>
e. 産婦人科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	37 <input type="text"/>

f	耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	38	<input type="text"/>
g	眼科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	39	<input type="text"/>
h	皮膚科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	40	<input type="text"/>
i	歯科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	41	<input type="text"/>

(2) 今のあなたにとって大切だと思うイメージについて

		非常に大切	やや大切	普通	大切でない	全く大切でない		
a.	内科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	42	<input type="text"/>
b.	外科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	43	<input type="text"/>
c.	整形外科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	44	<input type="text"/>
d.	精神科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	45	<input type="text"/>
e.	産婦人科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	46	<input type="text"/>
f.	耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	47	<input type="text"/>
g.	眼科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	48	<input type="text"/>
h.	皮膚科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	49	<input type="text"/>
i.	歯科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	50	<input type="text"/>

(3) 身近さのイメージについて

		非常に身近	やや身近	普通	身近でない	全く身近でない		
a.	内科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	51	<input type="text"/>
b.	外科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	52	<input type="text"/>
c.	整形外科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	53	<input type="text"/>
d.	精神科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	54	<input type="text"/>
e.	産婦人科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	55	<input type="text"/>
f.	耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	56	<input type="text"/>
g.	眼科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	57	<input type="text"/>
h.	皮膚科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	58	<input type="text"/>
i.	歯科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	59	<input type="text"/>

(ご協力ありがとうございました)